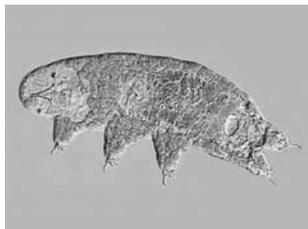


# 南極クマムシ調査隊

現在の南極大陸には大型の陸上動物は生息していませんが、南極にも生えているコケ（蘚類，地衣類）の中からは微小な動物が見つかります。これまで約60年の日本南極地域観測隊（JARE）では、主にコケ研究者が持ち帰った試料を用いて国内で南極微小動物の研究がされてきましたが、第56次観測隊の陸上生物チームはJARE初の「南極クマムシ調査隊」でした。その調査報告をお聞きください。



2015年**5月11**日(月) 16:30~18:00

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎1階シンポジウムスペース

対 象：学生・教職員・一般

※日吉駅から徒歩3分

参加費：無料（事前申込必要。下記webサイトで申込みをしてください。）



講師：鈴木 忠

◇第56次南極地域観測隊 隊員／医学部准教授・当センター所員

略 歴：名古屋大学大学院（昆虫変態ホルモン研究），浜松医科大学（糖脂質の構造研究）を経て1991年より日吉キャンパス勤務。昆虫精子形成過程の研究によって金沢大学大学院より博士（理学）。2000年以降クマムシ研究。2005-06年，コペンハーゲン大学動物学博物館。2006夏『クマムシ?!小さな怪物』（岩波書店）上梓。第56次南極地域観測隊（夏隊）隊員。

天災・交通事情など予期せぬ事態により変更・中止となる場合がございます。その場合，下記のウェブサイトでお知らせしますので，事前にご確認下さい。

